

「政治」についてのアンケート

<調査概要>

調査方法: インサーチモニターを対象としたインターネット調査
分析対象者: 札幌市内在住の20歳以上男女
調査実施期間: 2009年8月4日(火)～8月6日(木)
有効回答者数: N=463

全体	463名	100%
男性	219名	47%
女性	244名	53%

実施機関: 株式会社インサイト

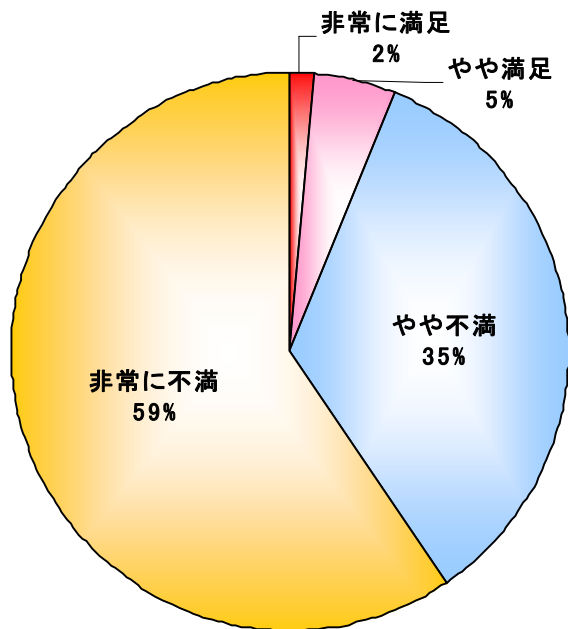
<結果の要約>

- 全体の94%が日本の政治に不満を抱いており、うち、6割近く(59%)が「非常に不満」と感じている。
- 全体の8割(79%)が政治に関心をもっており、最も関心の高い政治課題は「景気・税制・財政改革」、次いで、「年金問題」、「雇用・就労問題」、「医療・介護」、「社会保障制度改革」が上位に挙がる。
- 候補者選びにおいては、「候補者の政策/公約」を重視する割合が最も高く、次いで、「所属政党」、「人柄/好感度」、「将来性」が主な重視点として挙がる。
- 次期第45回衆議院議員選挙への投票意向者は全体の9割(90%)を占め、うち、7割近く(69%)が「必ず投票する」意向を示している。
- 「日本の政治や経済がよりよくなるために自分ができる/やるべきと思うこと」に関する自由意見では、“選挙に参加(投票)すること”、“もっと政治に関心をもつ”といった声が目立つ。

【日本の政治への満足度/関心度】

<日本の政治への満足度>

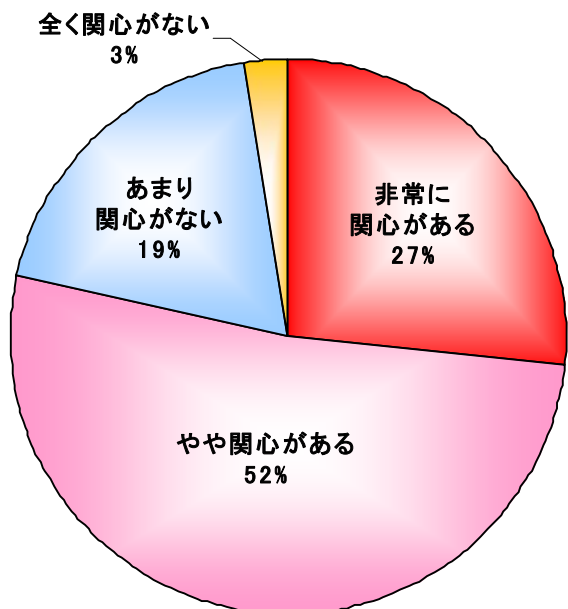
Q:あなたは、現在の日本の政治にどのくらい満足していますか。



※Base: 全体(N=463)

<政治の関心度>

Q:あなたは、現在の日本の政治にどのくらい関心がありますか。



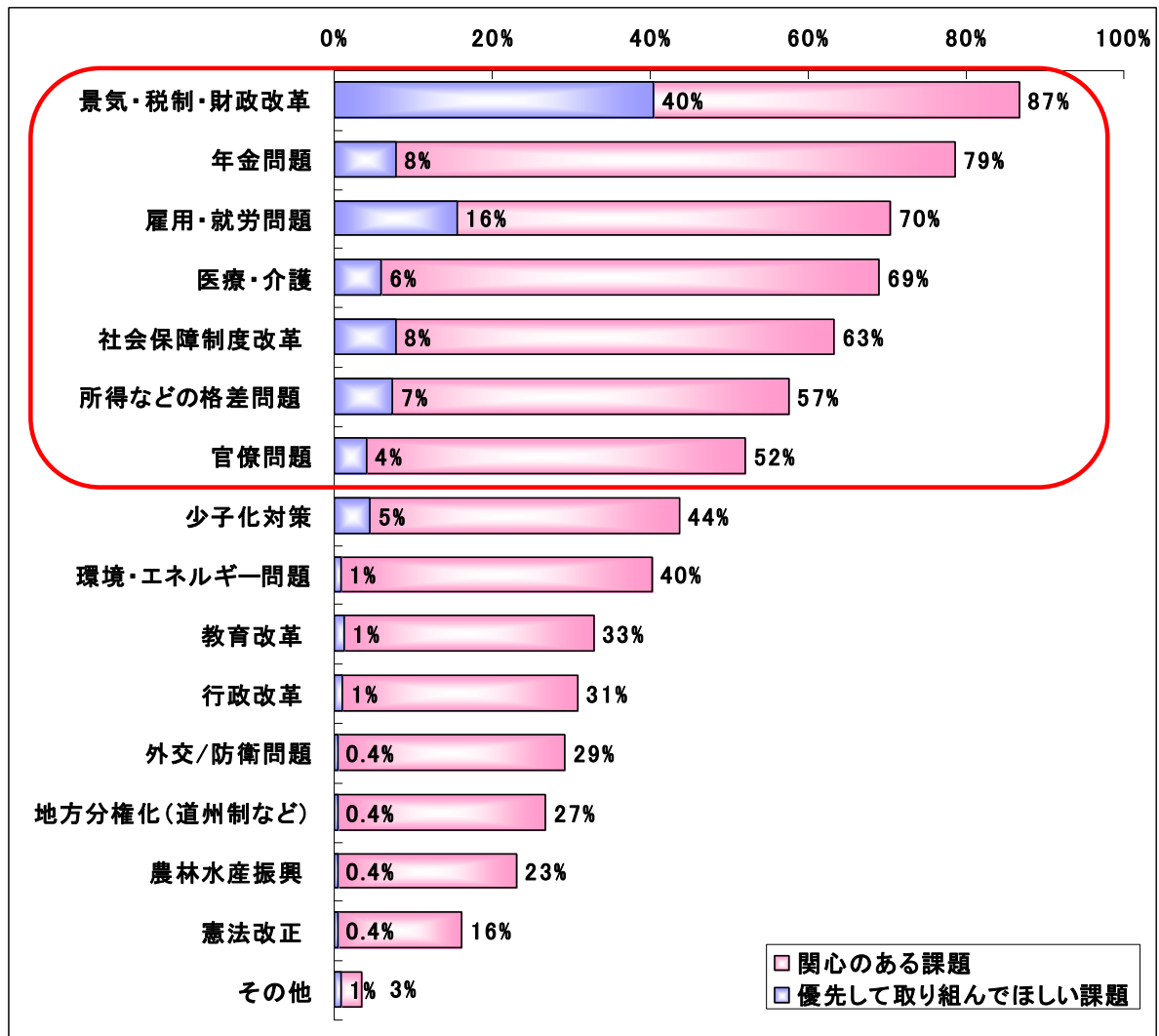
※Base: 全体(N=463)

- 全体の94%が現在の日本の政治に不満を抱いており、うち、6割近く(59%)が「非常に不満」と感じている。
- 全体の約8割(79%)が政治に関心を持っている。

【関心ある政治課題/優先してほしい政治課題】

Q: あなたが関心のある政治課題をすべてお選びください。(いくつでも)

Q: あなたが政府に対し、最も優先して対応してほしいと思う政治課題をひとつだけお選びください。



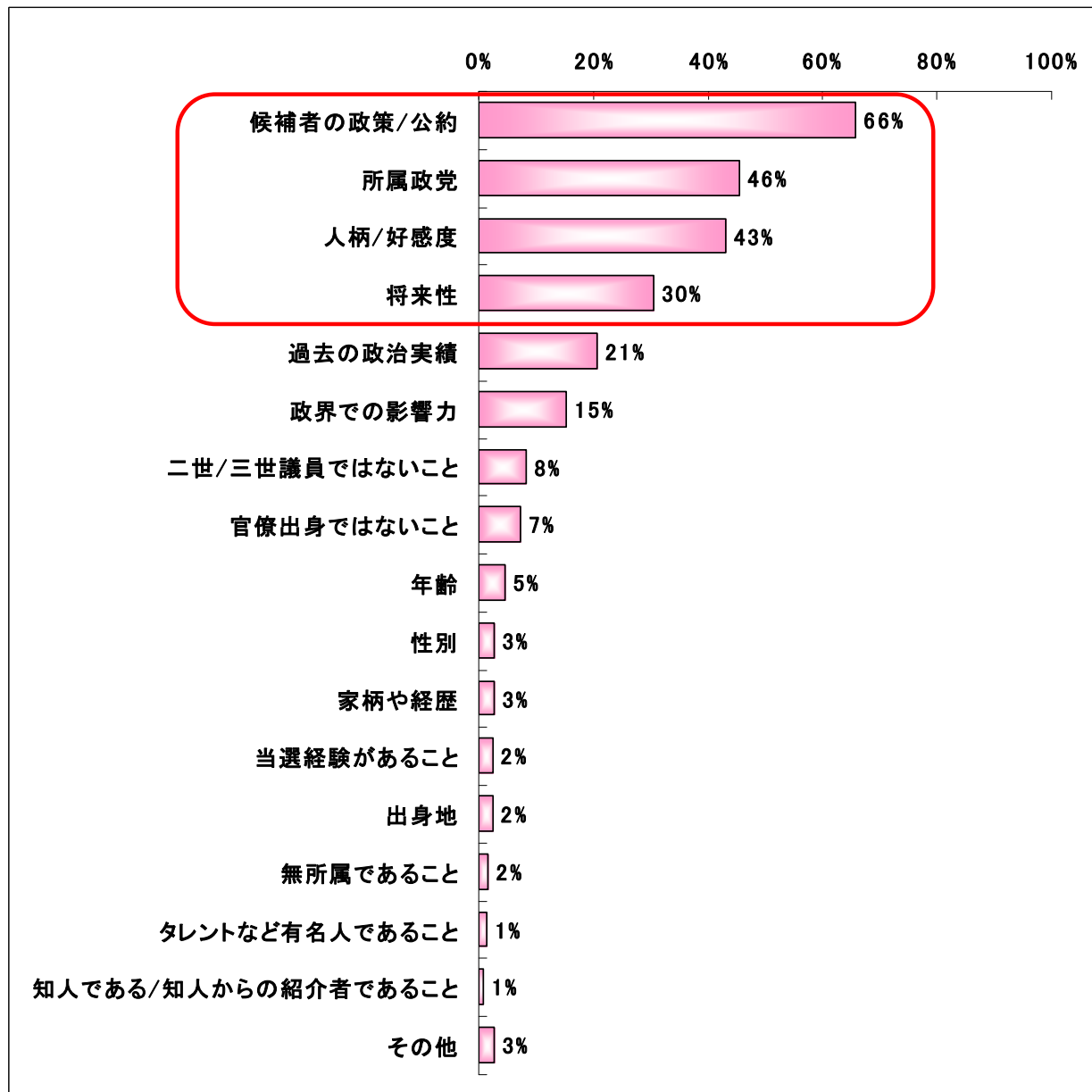
※Base: 全体(N=463)

➤「景気・税制・財政改革」に対する関心者が最も多く、全体の約9割(87%)を占め、優先的に取り組んでほしいと感じている割合も4割(40%)を占める。

その他、半数以上から関心を寄せられている政治課題として、「年金問題」、「雇用・就労問題」、「医療・介護」、「社会保障制度改革」、「所得などの格差問題」、「官僚問題」が上位に挙がる。

【候補者を選ぶ重視点】

Q: 選挙であなたが候補者を選ぶ際に重視する点をすべてお選びください。(いくつでも)

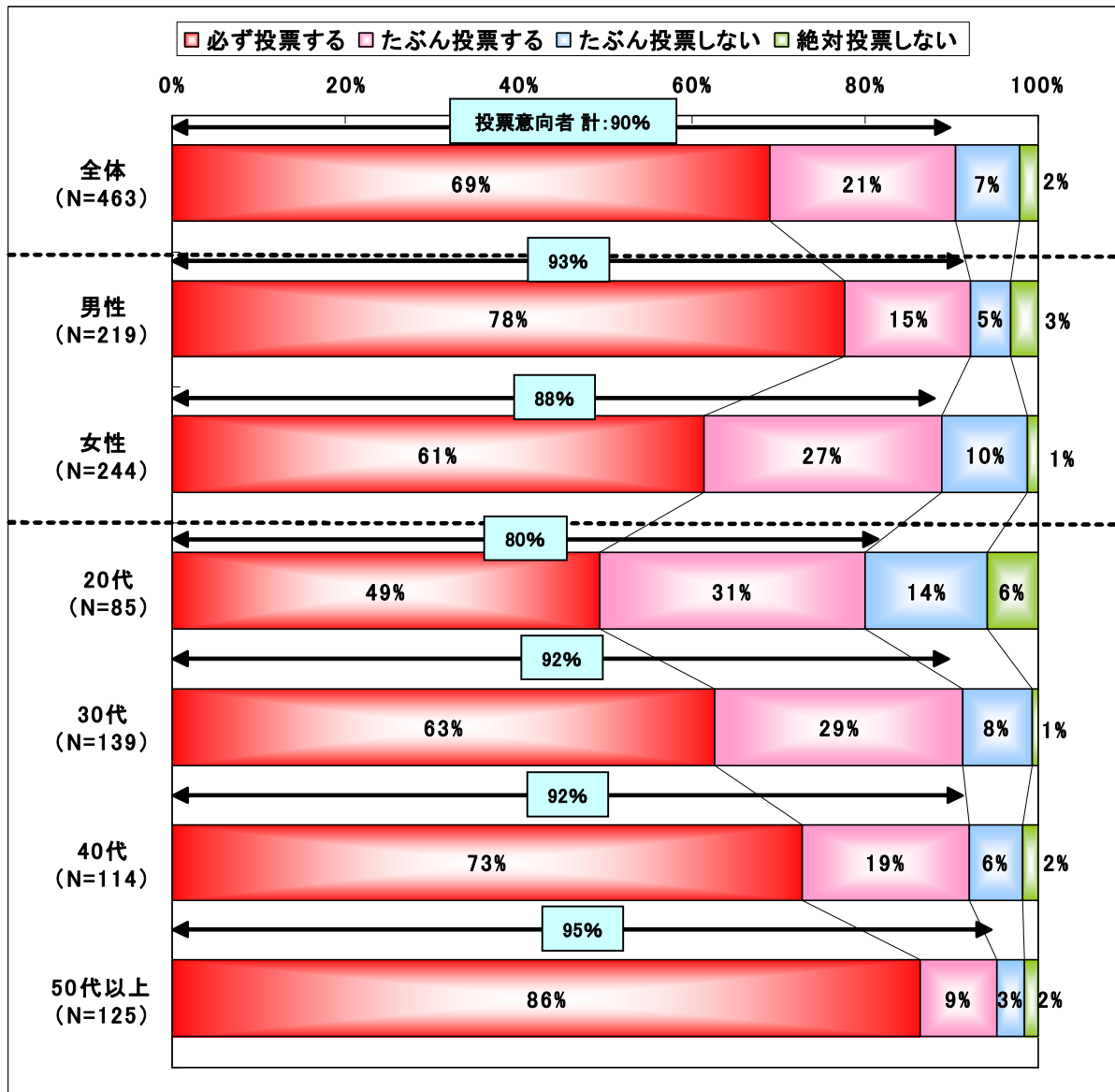


※Base: 全体(N=463)

➤ 投票する候補者を選ぶ際、「候補者の政策/公約」を重視している割合が66%と最も高く、次いで、「所属政党」、「人柄/好感度」、「将来性」が上位に挙がる。

【次期衆議院議員選挙の参加意向】

Q:あなたは、今年実施される第45回衆議院議員選挙に投票しますか。(不在者投票含む)



※Base:全体

- 8月30日に実施される第45回衆議院議員選挙への投票意向者は全体の9割を占め、うち、7割近く(69%)が「必ず投票する」と回答している。
- 男女別では、男性の方が女性より「必ず投票する」意向者の割合が高い。
- 年代別では、年代が高いほど「必ず投票する」意向者の割合が高くなる。ただし、他の年代に比べ最も投票意向率の低い20代においても8割が投票意向を示している。

【日本の政治や経済がよりよくなるために自分ができる/やるべきと思うこと】

Q: 日本の政治や経済がよりよくなるために、あなたご自身が「一人の国民として、できる/やるべきと思うこと」をどのようなことでも結構ですので教えてください。

【主要意見】

- ・必ず選挙に行く。(20代男性)
- ・私も政治には興味がない人間ですが、興味がない、誰がやっても同じと思わず、厳しい目で政党、政治家を選び、またその政策が正しいのか、効果があったのかを一人ひとりがきちんと考え、次の選挙で反映させなくては、よい政治にはならないと思います。やはり選挙には行くべきですね。(20代女性)
- ・政治や経済にもっと興味を持ち知識を高め、その上で一人一人がきちっとした考えを持ち的確な政治家を選ぶ事ができるようになれば日本は変わると思います。自分もふくめ個人の政治に対する意識をたかめなきゃいけないですね。(20代女性)
- ・マスコミに左右されずに、各政党、各候補者の具体的な方針を理解する。どういう政策によりどういう状況になったのかを把握する力を身につける。(30代男性)
- ・自分ひとりでは何も変えられないが、せめて投票で自分の意思を示したい。(30代男性)
- ・自分を含めた周囲の人間が、政治に対しての関心を高めるといこと。自分が支持している政党とは違う党を支持している人とも敵対心ではなく、国を良くするという思いの元、政治の話を気軽にできるようになればいいと思います。(30代男性)
- ・しっかりとマニフェスト等を読み、理解してから選挙に行って投票すること。自分ひとりくらいの票を入れても…という思いでは何も変わらないし、責任放棄だと思う。政治家は所詮庶民のこと理解していないと思うことも少なくないけど、選挙も行かないんだったら、批評する資格もないと思う。(30代女性)
- ・日本人としての義務を皆さんが果たすように啓蒙するしかない。今の日本人は権利は主張するけど、勤労する、子供に教育を受けさせる、納税する等、基本的な義務を果たしていない。(30代女性)
- ・必ず投票所へ行き投票すること。
仮にふさわしい人がいなくても白票を投じて自分の意思表示をすることは大切。(40代男性)
- ・きちんと考えて選挙に行くこと。今の政治が悪いのは、我々の責任。(40代男性)
- ・国民の生活を真剣に考えている政治家を選ぶ必要があることを周りにも伝えていくこと。(40代女性)
- ・選挙は絶対行くべし、隣り近所に声かけして。(50代男性)
- ・新聞をしっかりと読み、ニュースをみる。まわりの意見に左右されず、自分の考えを持つ。(50代女性)
- ・税金などはきちんと納める。政治は身近なことにはないといけない。(50代女性)
- ・政治家の質は国民の質とイコールであるので、われわれ一人ひとりが国&地方の政治、経済に参加し監視すべきである。(60代男性)
- ・責任をもって選挙すること、その後の政策に眼を光らすこと。マスコミの報道に踊らされることなく、現実をみつめ、今後の日本のあり方を勉強し続けること。(60代女性)

※本ページに掲載されている調査結果は、出典先を「マーケティングリサーチシステム インサーチ」と明記の上、自由にご利用ください。

<その他のお問い合わせ先>

株式会社 インサイト インサーチ事務局

e-mail : info@insearch.jp